

# 平成28年度病害虫発生予報第11号

平成29年 1月 31日  
愛 知 県

## 野菜

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
タマネギ	白色疫病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の降水量はほぼ平年並	± ±
	べと病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 (発生を認めていない) 2月の降水量はほぼ平年並	± ±
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	灰色かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	± ±
ナス (施設)	すすかび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	うどんこ病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない 2月の日照時間はほぼ平年並	- ±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない	-
キュウリ (施設)	べと病	<b>やや多い</b>	県全域	1月下旬の発生量はやや多い 2月の日照時間はほぼ平年並	+ ±
	うどんこ病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない 2月の日照時間はほぼ平年並	- ±
	ミナミキイロ アザミウマ	<b>やや多い</b>	県全域	1月下旬の発生量はやや多い	+
イチゴ (施設)	灰色かび病	少ない	県全域	1月下旬の発生量は少ない 2月の日照時間はほぼ平年並	- ±
	うどんこ病	少ない	県全域	1月下旬の発生量は少ない	-
	ハダニ類	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない	-

## ・防除対策

### 〔キュウリ（施設）・べと病〕

施設内が多湿にならないように、余分なかん水を避けるとともに、換気などにより適正な湿度管理を行いましょ。樹勢が低下すると発病が助長されるので、肥料切れにならないように適切な肥培管理をしましょ。リドミルゴールドMZやジャストフィットフロアブルなどで防除しましょ。

### 〔キュウリ（施設）・ミナミキイロアザミウマ〕

日射量が多くなり、ハウス内の気温が上がってくる季節です。本種の増殖スピードが速まるので、ほ場での発生に注意し、ボタニガード水和剤やコテツフロアブルなどで防除しましょ。天敵を導入する予定がある場合は、影響日数に注意して農薬を選定しましょ。本種がキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス（MYSV）を媒介するので、防除を徹底しましょ。

## ・留意事項

イチゴでは、ハダニ類の発生が増加し始めました。多発すると防除が困難になるので、早めに防除しましょ。天敵を導入している、あるいは導入を予定している場合はそれらの影響日数に注意して農薬を選定しましょ。

キャベツでコナガが発生しているほ場では、収穫終了後、速やかにすき込みましょ。

キャベツ菌核病は、発病株上に形成された菌核が次作の伝染源となるので、被害残さを集めてほ場の外へ持ち出し、適切に処分しましょ。

## 参考

東海地方の1か月予報（名古屋地方気象台1月26日発表）

〈特に注意を要する事項〉

期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、平年並の確率50%です。

3～4週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：20% 平年並：30% 高い：50%

〔降水量〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：30% 平年並：30% 多い：40%